

YMCAだからできるアフタースクールの取り組み

環境教育・自然体験への取り組み



YMCAでは、普段の遊びや長期休暇中の特別プログラムなどを通して「本物の体験」、キャンプや野外活動生き物を育てる経験などにより「人や自然と響き合っていこうとする能力」=「響き合いの心」が育つ環境を作ります。

子どもの体力作り

子どもたちの体力低下も社会的な課題となっています。保育士・管理栄養士の協力を受け、食育や生活習慣について学びの機会を持つだけでなくスポーツクラブのスタッフによる「学童プール」プログラムを実施しています。



Health & Fitness

健康づくりプログラム
キッズコーディネーション
など児童期の成長に必要な
運動プログラムの実施
栄養についての学び
食育についての学び
感染症予防についてのプログラム

平和教育への取り組み

戦争や自然災害、貧困や格差問題などさまざまな社会問題を「自分のこと」として受け止め、子どもたちが日常生活においてできることについて考える機会を持ちます。世界のYMCAとのつながりの中で、多様な文化や習慣に触れる機会をつくり、「多様性」という豊かさに気づいていきます。具体的な取り組みとして、みんなでいじめについて考える「ピンクシャツデー」を通して。公正で平和な世界の実現を目指していきます。



SDGsへの取り組み



YMCAでは身近な問題から取り組み募金活動やエコグッズ作りなどさまざまなプログラムを行っています。また全体イベントでもテーマとして取り上げ、再利用して作った手作りゲームや作品、SDGsクイズのお店など子どもらしいアイデアで取り組みました。

World & Peace

ピンクシャツデー
平和学習・平和月間
ワールドデー
環境教育
SDGsなど

YMCAリーダーとグループワーク



YMCAでは指導者のことを「リーダー」と呼びます。リーダーは単に子どもたちを指導したり、遊びを与えたりするのではなく、子どもたちが主体的に考え、創造する環境を創ります。子ども同士の関係づくりやコミュニケーション能力獲得のプロセスにおいてはYMCAが長年培ってきたグループワークの手法を用い、子どもたちが自ら育つ力を育みながらより効果的な関わりを行います。

多彩な事業と連携

横浜YMCAではアフタースクールのほかに、健康教育(スポーツ・野外教育)、語学教育、保育園、専門学校、高齢者、国際・地域、発達障がい児・者支援を展開しています。各専門スタッフと協力のもと日常的にさまざまなプログラムを提供しています。また、指導者の研修などにおいても事業間協同により進められています。



Teamwork & Leadership

キャンプ
グループワーク
チームビルディング
キャラクターディベロップメント
聖書からの学び